

今月の名言

「人生に限界があるとしたら、それは、あなたが定めた限界である。」

デニス・ウエイトリ
(自己啓発作家)

「農業塾閉校式」開催

12月5日(木)に中野支所において「農業塾閉校式」が行われました。令和元年度は、果樹コース23名、野菜コース19名の方が受講されました。閉校式では、金子組合長よりJAの情勢報告、山根部長からは流通の仕組みについて説明がありました。引き続き、令和2年度も1月から農業塾を開催する予定です。



収穫応援交流!

12月8日(日)大崎上島地区において県立広島大学三原キャンパスの学生33名がみかんの収穫応援にかけつけました。農家と学生との交流ができ、有意義な1日となりました。



「洋服の青山・展示会」開催!

11月21日(木)本所、22日(金)23日(土)中野支所にて「洋服の青山・展示会」を開催しました。多くの組合員が来場され、大変賑いました。



役員「広印青果」視察

11月12日(火)に広島中央市場内の広印青果へ当JA役員15名が視察に行きました。「競り」を見学した後、広印青果会議室にて市場の動向、相場など、詳しい説明を受けました。



主な行事報告

- 11月12日 役員広印青果視察
- 11月12日 第8回 理事会
- 《報告事項》
- 1. 9月末仮決算について
- 2. 不良債権の状況報告について
- 3. 販売荷受け状況について
- 4. 新入職員について

- 11月12日 理事研修(広島市内)
- 11月14日 監事監査
- 11月21日~23日 「洋服の青山・展示会」
- 11月23日 下島地区農協職員OB会開催
- 12月5日~6日 職員個人面談

年始のご挨拶



JA広島ゆたか農業協同組合
代表理事組合長 金子 仁



謹んで新春のお慶びを申し上げます。近年、台風・地震・水害など自然災害等による大きな被害が全国各地で発生し、農業にも大きな影響を受ける時代になってきています。ただ、国民の食糧を確保するためにも、農業の重要性を再認識していく必要がより高まるべきと考えます。一昨年12月に開催された第28回JA広島県大会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」が決議されましたが、重要なのは、決議したことをいかに実践し、成果を上げることと考えます。JAは組合員の皆さまが、営農・販売を基本に力を結集した組織であり、今後もJA広島ゆたかは営農・販売を中心とした組織であり続けます。本年も、組合員・地域の皆さまのご支援とご協力・ご理解を賜り、JA運営に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくご挨拶致します。



年末・年始 購買店舗営業日程表

		下 島				上 島					
月	日	曜日	グリーンセンター	久比	内浦	Aコープ	明石	アグリセンター	原田SS	東野SS	JACK
12	28	土	営業	休業	休業	営業	営業	営業	休業	営業	営業
	29	日	休業	休業	休業	営業	休業	休業	営業	休業	営業
	30	月	営業	営業	営業	営業	営業	営業	営業	営業	営業
	31	火	12時まで営業			17時まで営業	12時まで営業				
1	1	水	正月休み				正月休み				
	2	木	正月休み				正月休み				
	3	金	正月休み				正月休み				
	4	土	棚卸	棚卸	棚卸	10時より営業	棚卸	棚卸	休業	棚卸	棚卸
	5	日	休業	休業	休業	休業	休業	休業	営業	休業	営業

年末・年始 ATM営業日程表

月	日	曜日	本所ATM	中野ATM	東野ATM
12	28	土	9:00~17:00	8:45~18:00	ご利用できません
	29	日	ご利用できません		
	30	月	8:00~18:00	8:00~18:00	8:30~17:30
	31	火	9:00~17:00	8:45~17:00	ご利用できません
1	1	水	ご利用できません		
	2	木	ご利用できません		
	3	金	ご利用できません		
	4	土	9:00~17:00	8:45~17:00	ご利用できません
	5	日	ご利用できません		

第148号

令和2年1月

編集発行
JA広島ゆたか総務部

11月末実績

期首組合員数 5,142人
出資金額 5億4806万円
貯金残高 280億1759万円
貸付金 6億1353万円
供給高 7億4319万円

いつも当JAのご利用有難うございます。今後も役職員一同、誠心・誠意にいたしますので、今後ご利用のほどよろしくお願い致します。



1月の柑橘園作業指針

J A 広島ゆたか営農販売課

暖冬でも寒害になる気温まで下がる場合があります。気象予報などを参考にし、寒害のおそれがある場合は収穫を早めましょう

【1】中晩柑類の収穫・貯蔵

(1) 収穫前の腐敗防止剤の散布

「はるか」、「しらぬひ (デコポン)」など収穫期が年明けの品種は、1月以降に散布

() 内は収穫前散布日数

対象病害虫	散布薬剤・倍数	180あたり	1000あたり
腐敗防止	ベフトップジンプロアブル (劇) (前日) 1,500倍	12cc	66cc

*みかんと収穫前散布日数が異なります

(2) 品種別収穫・貯蔵方法

- ・寒波情報に注意し、凍結などの被害の恐れがある場合は収穫を早める
- ・霜ヤケ、クラッキング(ひび割れ)、シミ果の発生がある場合は収穫を早める

品種	収穫時期	予措・貯蔵
紅八朔	1月上旬～中旬	予措はしない 10度以上でこはん症が発生しやすいので注意
ポンカン	早生系：12月中旬～ 晩生系：1月中旬	果頂部の霜ヤケ発生が見られる場合は収穫を早める
はるみ	残果は1月上旬に一括収穫	霜ヤケの発生が見られる場合は収穫を早める コンテナ貯蔵の場合、5分詰め上下に新聞紙を敷く
しらぬひ (デコポン)	1月下旬～	果皮が硬いと剥いた時に手に油がつくので、2週間程度予措し3%程度減量させる 予措後は新聞紙囲いなど湿度を保ち貯蔵する
はるか	1月下旬～2月中旬 完着果と着色不良果は分けて収穫	3月以降の出荷まで、しっかり予措を効かせる必要があるため、収穫が遅れないようにする 風通しの良い場所で予措する。 着色不良果は収穫後速やかに軒下など明るく温暖な場所 ^所 で完着にしてから予措を行う。
甘夏	1月下旬～2月上旬	貯蔵前に減量歩合3% (果皮の厚い果実4～5%)の予措を行う (風通しのよい場所で1ヵ月程度)

【2】レモンの収穫・保管管理

本年産は着果が多いため、寒害に遭いやすい園地は収穫を早めましょう

収穫	保管管理
<ul style="list-style-type: none"> ・寒波被害抑制のため、着果の多い樹は早めに収穫を進める ・寒波被害を受けやすい園地は1月下旬までに収穫を終了する 	出荷まで期間が長く空く場合は、乾燥防止のため、新聞紙や有孔ポリ、もぎたてパックなどを利用し保管する。保管中に果実が凍結しないよう注意する。

【3】レモン防寒対策

(1) 苗木防寒対策

成木よりも耐寒性は弱いため、パスライトなどを巻き、樹体を保護する

(2) 寒害軽減対策

- ・乾燥した状態は被害を悪化させるため、かん水で土壌を極端に乾燥させない
- ・防風樹の裾を刈って、冷気が抜けるようにしておく



苗木防寒の例

【4】冬マシン油による防除 (収穫後)

カイガラムシがついている部分にあらかじめ目印し、その部分をていねいに防除する。

対象病害虫	散布薬剤・倍数	180あたり	1000あたり
サビダニ・カイガラムシ・ハダニ	機械油乳剤95 30倍	600cc	3,333cc

*樹勢低下している樹は使用を控える

【5】土づくり

県内柑橘園の土壌分析の結果①土壌の酸性化 ②苦土欠乏が顕著となっている (詳細は特報参照) 土改剤を積極的に施用。

(1) 石灰質肥料を施用しよう (酸性土壌の改善)

資材：マリンカル (緩やかに効くため土壌を硬くしにくい)、または苦土石灰

(2) 苦土欠乏の場合、苦土肥料を石灰質肥料と同時施用する

資材：ニューエコマグ (長期間肥効あり)

(3) たい肥の施用 (肥効の向上、樹勢強化)

資材：豊穰 (土壌を軟らかくする)、牛ふん (レモン・中晩柑)

ココナッツピート (軽量で省力)、アヅミン (腐植補給の省力化)

お問い合わせは 広果連技術員まで

糸曾技師 (上島地区担当) 090-7540-5754

小川技師 (下島地区担当) 090-7540-5751